



第116号 (季刊)
平成27年10月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



繰り返される災害

町内会副会長 4組 原 安正



非常にショッキングな映像がテレビから送られてきます。記録的な豪雨となった関東北部と東北南部の洪水の様子です。茨城県常総市で降り続いた大雨が原因で市内を流れる鬼怒川の堤防が決壊氾濫し広い範囲で住宅地、水田が浸水しています。また宮城県大崎市でも渋井川が決壊し、死者、行方不明者が多数出ています。地球温暖化により今までにない気象現象が、毎年全国各地に発生しています。去年は広島市の豪雨で山が崩れ住宅地を押し流し、死者が多数出ました。

御南学区の自然災害の最大リスクは、南海トラフ大地震と豪雨・長雨による水害です。幸いにして今までは、地震は震度4、水害は長雨により(笹ヶ瀬川への排水が出来なくなり)道路が数十センチ冠水したことが数回あるものの、大きな被害にあったことはありませんでした。

昨年12月に御南学区防災訓練が御南小学校にて行われ、初めて参加しました。消防署の方々の指導により起震車に乗り

大きな地震の揺れの体験、毛布・上着等を担架として利用するけが人の搬送法、AEDの使用方法等を体験しました。

天災は忘れたころにやってくると言われます。

次回の防災訓練にも町内会の多数の方々が参加し、日頃忘れがちになる防災について少しでも意識を持っていただければと思います。

五十年、百年に一度の豪雨による大水害、何百年に一度の大震災において大切なことは、行政の的確な避難誘導ではないでしょうか。特に夜間は災害の情報が伝わりにくくなります。各個人は停電に備え、ラジオ・懐中電灯・水・食料などを必要最小限備えておくべきでしょう。人命が一番ですが、大切な住宅・家財の損害に備え、地震保険、水害に対応した火災保険、家財保険への加入を強く意識させられました。

